

神照小学校からの報告

活動団体名： 神照小学校生物クラブ

活動人数： 25 人（教員2名）

取組時間：クラブの時間

調査内容 1回目：6月13日（月） 鬼川 曇り 2回目：10月24日（月） 鬼川 曇り

タモ網やザルを使って、水生生物の捕獲を行い、観察用のバットの上に分類してから、観察を行いました。子どもたちで役割を分担して、流速や水温、気温、川幅の測定などを行いました。調査地点の概要を調べた後、川の中に入って、観察を行いました。どの子も、たくさんの生き物を捕まえようと、楽しく一所懸命に調査を行っていました。観察をしていると、生き物を探すだけでなく、川の中の様子やにおいなど、普段の生活の中ではあまり気にしないことにも、注意を向けて活動を行っていました。ただ生き物を捕まえるというだけでなく、川の様子に着目して調査できるように、季節を変えて2回の観察を行いましたが、川の中だけでなく、川の周辺や生き物の様子にも変化があり、興味深そうに観察することができました。



調査員の感想

同じ川で2回調査をしたけれど、見つけた生き物が、かなり違っていた。魚がもっとたくさんいると思ったけれど、あまり捕まらなかった。透明そうに見えるのに、意外とおいを感じた。エビがすごくたくさんいた。水が冷たくなってきているから、あまり生き物が見られなくなった。

捕まえた生き物たち

カワニナ、ミズムシ、ヒルの仲間、ヌマエビ、サワガニ、イトトンボのヤゴ、コカナダモ

調査のまとめ

6月と10月にクラブの活動において、2回の観察を行いました。6月は、雨が降って数日した後の観察だったため、川は濁り、においも少し不快感のあるものでした。上流から不純物が流れてきているのか、COD値も8以上と高かったです。用水路であるため、近くの田んぼのとも繋がっており、様々なものが流れてくる川となっています。生き物は豊富で甲殻類を中心にヤゴやカワニナなどの生き物も多く観察できました。10月は、6月と違ってCOD値も落ち着き、2となっていた。川の濁りやにおいも感じず、6月の様子とは随分違っていました。水温が下がってきたこともあり、生き物は6月に比べて少なくなっていました。通年を通して、ヌマエビの数が非常に多かったです。

活動の様子

【調査を実施した鬼川の様子】

